



No.62 (2017.10)

地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース



南アルプスの夏(臨床研修医 秋葉純也作)



地域の皆さまの
心と身体のおアシスで
ありたいと願っています。
何なりと
ご相談ください。

各記事にあるQRコードを読み込むことで、
各診療科および各部署のHPを開くことができます。
ぜひ、ご活用ください。

体にやさしい ふくくうきょう 腹腔鏡手術

総合外科 准教授 須郷広之

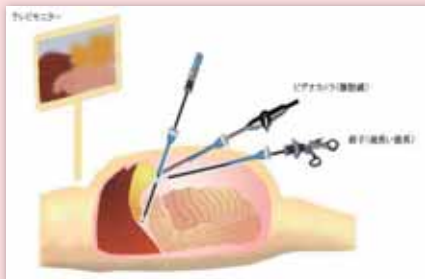
腹腔鏡（ふくくうきょう）手術は、従来のお腹を切って開腹して行う手術に代り、お腹に数本の筒状の機器を刺し入れてお腹をガスで膨らませ鉗子（かんし）を用いてモニターを見ながら行う手術です。



須郷広之

従来の開腹手術に比べて、傷が小さい・目立たない、痛みが少ない、入院期間が短い、癒着が少ない、出血が少ない、などのメリットがあげられます。

腹腔鏡手術



腹腔鏡手術の傷跡



開腹手術の傷跡



順天堂練馬病院・総合外科では、以下の様々な領域で腹腔鏡手術が可能です。

腹腔鏡下胃切除術

腹腔鏡下大腸・直腸切除術

腹腔鏡下虫垂切除術

腹腔鏡下肝切除術

腹腔鏡下胆のう摘出術

腹腔鏡下脾切除術

腹腔鏡下ヘルニア修復術

ただし、腹腔鏡による手術では、病気の種類、患者さんの全身状態や病歴などの条件により、適応にならない場合、また腹腔鏡手術が不向きな場合がありますので、詳しくは外来担当医にご相談ください。



練馬病院 HP
【総合外科】

救急室坂本良子看護師、メキシコ地震に関する 日本国際緊急援助隊救助チームの一員として参加

9月19日（現地日）にメキシコ中央部で発生した地震を受けて、日本の国際緊急援助隊救助チーム医療班の一員として当院救急室坂本良子看護師が9月21日にメキシコに派遣され、現地で捜索・救助活動にあたりました。



在メキシコ日本国大使館 Embajada del Japón en México;(HPより抜粋)
メキシコにおける地震被害に対する国際緊急援助隊・救助チームの帰国

救助チームは、メキシコシティ中心部の被災地3か所で捜索・救助活動を実施しました。同チームの活動に対して、メキシコ政府及び国民から深い感謝の意が表明されています。



メッセージは、スペイン語で「困った時の友こそ真の友」
(平成29年9月25日掲載)



練馬病院 HP

2020年1月より順天堂練馬病院はリニューアルし診療を強化します。

当院では、新たに4号館を増築し 2020年1月より新4号館で外来診療を開始する予定です。さらに1号館を改修し、2021年4月から90床を増床し490床での入院診療を開始いたします。

新設、拡充する医療機能は、

- ①周産期センターを新設し、小児・周産期医療を充実します。
- ②救急室を拡張し、救急・プライマリーケア診療を充実します。
- ③ICUを10室から12室に増床し、救急・災害医療を拡充します。
- ④手術室を7室から9室に増室し、心臓血管外科、形成外科を新設します。
- ⑤血液疾患に対する無菌室を12床新設し、血液疾患治療を充実します。
- ⑥入退院支援センター(仮称)を新設し、切れ目のない外来・入院・在宅医療を支援します。

順天堂練馬病院はこれからも練馬区の基幹病院として、区民の方々を中心として、いつでも安心して質の高い医療を受けることができる病院としてあり続けたいと存じます。

今後もしっかりつけ医の先生と連携しつつ、順天堂の学是「仁」、理念「不断前進」の精神のもと、皆さまの命と健康を守っていけるよう努力してまいります。皆さまの変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

順天堂大学練馬病院新4号館(仮称)増築、1号館90床増床改築計画

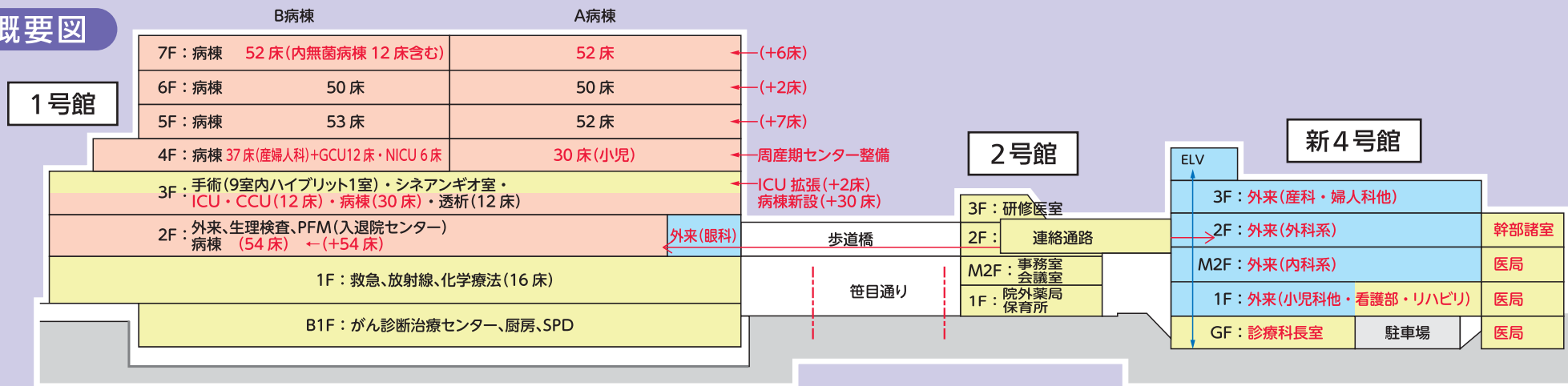


新4号館外観パース
 ・石神井東中学校運動場側から見た図です。
 ・左奥に1号館(本館)がみえます。
 ・2020年1月外来診療開始予定です。



新4号館2F(歩道橋レベル)
 ・主に外科系外来パース
 総合外科・整形・脳外・耳鼻科ほか
 ・外来待合スペースは今より広がります。

概要図



・病床90床増床(2021年4月より400床⇒490床)
 7F: 血液内科の無菌室新設(12床) 2F: 入退院センター(PFMセンター)新設など
 4F: 小児・周産期センター新設 1F: 救急外来拡張(プライマリーケア診療センター)
 3F: 手術室拡張(7室⇒9室) MRI1台増設、化学療法センター拡張(12床⇒16床)
 ICU、CCU拡張(10床⇒12床) 薬剤科拡張など
 心臓血管外科、形成外科新設

・外来診察室の移設・拡張(54室⇒76室)
2020年1月診療開始予定
 ・リハビリテーション室移設
 ・医局、幹部諸室等移設



練馬病院 HP

C-cube(シーキューブ)プロジェクト 看護部

この「C-cube プロジェクト」と題する催しは、練馬区内（Community）の子どもたち（Children）との交流（Communication）を深め、地域に根ざした病院になることを目指した活動で、今回で9回目となりました。



赤ちゃんの沐浴と着替えをやってみました。真剣！



血液について観察、勉強しました。



検査室の顕微鏡で血液の細胞を見てみました。



病院地価の免震構造について見学し、説明を受けました。



栄養部で患者さんの食事準備を見学しました。



手術室に入って体験です。みんな興味津々！

子供たちの夏休み期間中 8月12日（土）に、練馬区内の小学生 32名が参加しました。

体験は子供用のユニフォームを着て、医療従事者になりきって聴診器で自分やお母さんの心音を聞くことから始まりました。その後保護者の方と別れ、子供たち5～6人のグループを作って担当の看護師と一緒に病院探検出発！検査室で顕微鏡をのぞいたり、手術室で様々な器具を触ってみたり、人形で沐浴してみたりと様々な医療体験に挑戦しました。

体験の最後で「大きくなったら何になる？」の質問に、医師や看護師、中には研究者と話すお子さんもいてとても頼もしく感じられました。これからも「C-cube プロジェクト」活動への応援よろしくお願いたします。



練馬病院 HP
【看護部】

(看護部 根岸万里子)

認定看護師の紹介

看護師 神川裕代

認定看護師とは、日本看護協会が特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有すると認めた看護師のことです。

今回は、当院に2名在籍している皮膚・排泄ケア認定看護師についてご紹介します。私たちは、床ずれなどの治りにくい傷がある患者さん・人工肛門や人工膀胱を造った患者さん・病気や加齢により便や尿失禁がある患者さんを対象に活動をしています。

今回は、加齢による皮膚のトラブルの予防と対策についてご紹介します。皮膚は人の体を守ってくれる最大の臓器ですが、高齢者の皮膚は薄く乾燥しているためその働きが弱くなっています。白っぽく粉が吹いていることやカサカサしている経験はありませんか？ぶつけたり擦れたりすることで皮膚が避けたり、排泄物の刺激でかぶれやすくなります。また、容易に床ずれができやすくなります。そこで、傷を防ぐケアの一つが保湿です。保湿クリームを塗ることで、皮膚を守るための機能を補います。塗るタイミングは、入浴した直後が効果的と言われています。最近は、保湿剤入りの入浴剤も市販されています。これからの季節は、気温や湿度が下がり乾燥しますので、保湿をして健康な皮膚を維持しましょう。身近にいる方にもおすすめしてみたいかがですか？

【乾燥した皮膚】



【保湿クリームを塗った皮膚】



練馬病院 HP
【看護部】

二人主治医制

当院はかかりつけ医の先生と連携して二人主治医体制をとっています。

かかりつけ医
(診療所・クリニック)



普段のヘルス・
チェックや投薬

専門的・高度医療
入院治療が必要



初期医療
症状が安定

順天堂大学練馬病院
(地域医療支援病院)



専門的なチェック
や検査、緊急治療

「かかりつけ医」をお持ちください。

- ・ 安定した患者さんの普段のチェックやお薬は、かかりつけ医でお願いいたします。
- ・ 安定されていない方、重症の方、緊急治療の必要な方のケアを優先いたします。
- ・ 専門的な診断・診療により、安定された方は、かかりつけ医での治療の継続をお願いいたします。
- ・ なお、当院の受診が必要な場合は診療情報提供書（紹介状）をご持参ください。

